

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 19 日 作成

事務事業名	熊本北部流域公共下水道維持管理負担事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合計画 体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり	所属部	水道局	課長名	久留 伸二
	施策	10	水環境の保全	所属課	上下水道課	担当者名	主事 中山 大志
	基本事業	28	水質の浄化	所属班	庶務料金班	(内線)	1194
				法令根拠	下水道法		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	③
	50	1	1	4	10226			コスト削減優先度評価結果	-

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 H 元 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
熊本北部流域下水道の維持管理に要する費用の市町村負担金等に関する覚書により、維持管理経費を負担する。(熊本県)
17年度から19年度までは流入量の実績に対し1㎡当り54円 20年度から1㎡当り50円

【業務の流れ】
熊本北部流域下水道の維持管理費に係る合志市の負担金の算出、協議、検討、支払事務

【主な予算費目】
負担金補助及び交付金

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
	・負担金の支払い事務等	・負担金の支払い事務等
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	・浄化センター及び関連施設	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)
		ア 負担金の額 (単位)
		⇒ イ 千円
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	・施設が支障なく稼働できるようにする	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
		ア 浄化センターへの流入量 (単位)
		⇒ イ 浄化センターへの流入量に占める合志市の割合 (単位)
		⇒ イ %
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	・水質が向上する	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
		ア 浄化センターからの問題案件の報告数 (単位)
		⇒ イ 件
		⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)
		ア 市内河川のBOD(測定地点)基準達成率 (単位)
		⇒ イ %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	101,740	106,044	104,931	120,685	102,422	107,550		112,920
		繰入金	千円								
	一般財源	千円									
	(A) 事業費計	千円	101,740	106,044	104,931	120,685	102,422	107,550	112,920		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費	人	4	5	5	5	5	5	5		
正規職員従事人数	人	4	5	5	5	5	5	5			
延べ業務時間	時間	200	105	60	80	70	100	90			
(B)人件費計	千円	794	418	239	318	279	398	358			
トータルコスト(A)+(B)	千円	102,534	106,462	105,170	121,003	102,701	107,948	113,278			
活動指標	ア イ	千円	101,740	106,044	104,931	120,686	102,422	107,550	112,920		
対象指標	ア イ	㎡	1,958,525	1,950,877	2,098,620	2,465,280	2,048,420	2,150,840	2,258,380		
成果指標	ア イ	%	11	11	11	11	11	11	11		
上位成果指標	ア イ	件	1	1	1	0	1	1	1		
上位成果指標	ア イ	%	100	100	100	100	100	100	100		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
昭和57年に熊本県が事業主体となり、合志町、熊本市、菊陽町の3市町による北部流域関連公共下水道事業が始まり、平成元年に浄化センターが熊本市に建設され、供用開始されたことにより始まった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
供用開始より20年近く経過しているため、施設の老朽化が心配される。
平成18年度に指定管理者制度導入・実施。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし。

事務事業名	熊本北部流域公共下水道維持管理負担事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 意図の浄化センター及び関連施設が支障なく稼働できるようにすることにより結果の水質が向上するに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 浄化センターの維持管理は、市民の生活環境の保全及び公共水域の水質保全につながるものであり、その充分の使用料も賦課されているので、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 老朽化により機能低下した施設を計画的に改築更新してもらうことにより、トラブルの発生や補修箇所が減り、円滑な維持管理が出来ると思われるので、事業主体の県へ要望していく。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 本事業を停止・休止すれば、市民の生活環境や公共水域の水質に重大な影響を与える。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 当処理区域に限られた維持管理業務であるため、統廃合・連携はできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 経費削減のため、平成18年度より指定管理者制度導入・実施。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 経費削減のため、平成18年度より指定管理者制度導入・実施。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 受益者より使用料を応分負担して頂いているので、適切である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性について、老朽化により機能低下した施設を計画的に改築更新してもらうことにより、トラブルの発生や補修箇所が減り、円滑な維持管理が出来ると思われるので、事業主体の県へ要望していく。 ①目的妥当性、③有効性、④公平性については適切である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 一自治体の問題ではないので、県及び関連自治体との連携を図り現状のまま継続する。 本事業は、負担金の支出であり、本市のみで事務改善を行うことは困難である。ただし、事業主体の県に対して、適切な施策の実施を要望していきたい。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策特になし。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	1	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	1	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)